



年明け討論会

家族介護者支援を考えよう！！



(開場 9 時 30 分)

日時：2016年1月11日(祝日) 10時～15時

場所：名古屋大学大幸キャンパス 本館2階第1講義室

(地下鉄名城線なごやドーム前矢田下車 徒歩10分)

対象：家族介護者支援に関心のある方、**専門職歓迎！！**

定員：50名(先着順) **要予約**(〆切1月6日)

参加費：会員1000円、非会員2000円、学生500円

その他：近くに飲食店がありません。各自でお弁当をご持参ください。

なお、当日、お弁当の申込みも受け付けています。

社会政策や心理学の専門家と
これからの家族介護者支援を
議論しませんか？

開会：10時

講演Ⅰ：10時30分～11時30分

講師：静岡大学名誉教授 (一社)ハッピーネット特別顧問
三富 紀敬さん

テーマ：欧米の介護者法制と支援の体系

質疑応答：11時30分～12時

講演Ⅱ：13時～14時

講師：メンタルケア学会主任研究員
(一社)ハッピーネット特別顧問 今関 仁智さん

テーマ：心理専門職からの提案：家族介護者支援のありかた

質疑応答：14時～14時30分

まとめ・閉会：14時30分～15時

申込方法：HPの場合：申し込みフォームからお申し込みください。

<http://www.emikin.com>

FAX (052-719-3110)・Email：office@emikin.com

記載事項：①氏名 ②性別 ③年齢 ④職業 ⑤住所 ⑥緊急時の電話番号

問い合わせ先：090-1299-5559 (担当：堀)

主催：一般社団法人ハッピーネット

後援：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事務局、ケアラーズネットあいち





開催趣旨

《一般社団法人ハッピーネットとは》

現在日本では、在宅医療にシフトした大幅な医療制度改革が推進されていますが、地域包括ケアシステムの整備がそれに追いつかず、多くの社会問題が噴出しています。

当法人は、在宅ケアを担っている家族介護者など、急速に変化する社会システムの隙間に陥って苦しんでいる人たちの健康や QOL に関するニーズを引き出し、新しい社会システムにおいても、生き生きと健康的に生活できるようサポートすることをめざしています。2015 年 5 月、医療・福祉系の研究者、専門職実践家、一般市民などにより設立されました。

《討論会開催趣旨》

近年、介護による虐待や心中、離職、貧困などの社会問題がクローズアップされていますが、まだまだ家族介護者の支援の理解は低いです。

本討論会は、家族介護者の支援の必要性和そのあり方を、より多くの人たちが理解し、考えるきっかけとなることをめざしています。

《討論会内容》

講演Ⅰ．欧米の介護者法制と支援の体系

欧米の家族介護者支援の法制度の動向を通して、日本での家族介護者支援の法制度について参加者の皆様と一緒に考えたいと思います。また、日本での家族介護者支援をめぐるどのような議論がされてきたのか話を伺います。

講師：三富 紀敬氏 静岡大学名誉教授、経済学博士(立命館大学)、博士(社会福祉学、大阪府立大学)、博士(社会学、立命館大学)、1985 年 7 月第 4 回野村平爾賞受賞。2001 年 5 月第 7 回社会政策学会賞(奨励賞)受賞。著書に『介護者の健康と医療機関 健康格差論の射程』ミネルヴァ書房(2013 年)など多数あり。

講演Ⅱ．心理専門職からの提案：家族介護者支援のありかた

家族介護者はうつ病や抑うつ気分を引き起こしやすいことが報告されています。介護による心身の負担に加えて、老親など親しい人を介護する場合、要介護者の老化や病気による変化、死に至る過程と家族介護者は向き合わねばなりません。また、要介護者を亡くした後も、後悔が残り、長年苦しむ人もいます。家族介護者のさまざまな心の問題について、心理専門職から支援についての話を伺い、心の支援を一緒に考えたいと思います。

講師：今関 仁智氏 メンタルケア学会主任研究員。

